

すずしくなるのはどれ？～保健委員の実験から～

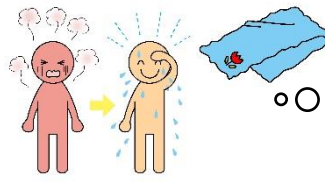
9月に入り、一時期の暑さは少しずつなくなってきましたが、まだまだ昼間はむし暑い日があります。

発育測定の際に保健委員会のお話から、「ぬれタオルでふく」「水道であらう」と平均で「-1.1℃」下がったことがわかったことと思います。また、下がっただけでなく、とても気持ちよかったと感じた人も多かったので、タオルを持ってきて、上手に次の汗をかいて体が熱くなりすぎないように、自分で自分の体を守ってあげましょう！

※お話をした後、タオルを持ってきている人がふえてきました。自分で自分の体を守ろうと思ってくれた人がふえてきてくれてとてもうれしいです。



ぬれタオルでふいて！ 水道であらって！ -1.1℃



タオルを持ってきて
ためしてみてね！

たおれていた朝顔のはち ～気づき～

9月のある風が強い日の下校時、保健室前の1年生の朝顔のはちが数個たおれていました。

すると、そこを通りがかった5年生の女の子2人がそれに気づき、朝顔のはちを起こしていました。「ありがとう。」と声をかけ、何度もたおれていることを伝え、たおれてもささえるものがある場所なら大丈夫だと思うんだけど・・・と話すと「移動させてもいいですか？」とささえになる場所へたおれていたはちを運んでくれました。きっと、一生けん命、水やりをして育てていた1年生の姿が浮かんだのでしょね。その子たちが悲しい気持ちになったらいやだなと思ってくだのだと思います。

たおれていた朝顔のはち、このたおれていることに気づいた2人、そして、さらにそのままにせず、何とかしようと行動にうつしたというところにこの2人のすごさ、他者を思いやるやさしさを感じ、とってもうれしくなりました。また、その2人を見て、手伝おうとした子もいました。こういうことに気づけるって素敵ですよ。東原小の子はすごい！と思いました。

同じ道を歩いていてもたおれているはちに気づかない人、気づく人、そして、気づき、行動にうつす人がいると思います。きっと、気づくことができる人は、日ごろから周りを見て、いろいろなことを意識しているのだと思います。こうした「気づき」をたくさんの方ができるようになると、周りの人のことを考え、他者を思いやり、みんながやさしい気持ちになれるのではないかなと思います。

いつも通る道、いつもいっしょにいる友だち、いつもやっていること・・・ちょっとだけ、いろいろなことを意識してみたり、考えたり、行動したりしてみてください。とっても素敵な「気づき」があり、自分自身の行動も今までとはちがってくるかもしれません。気づいて行動できる人がふえ、やさしいいっぱい東原小になったらいいなと思います。

